

二〇二五(令和七)年度 日本文理大学 入学試験問題
一般選抜【学力試験2科目型入試前期】
【大学入学共通テスト併用型入試1期】

国 語

受験番号	
氏名	

— 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。なお、各設問の文字数には、記号・句読点を含む。

著作権の関係上、文章は掲載しておりません。

著作権の関係上、文章は掲載しておりません。

著作権の関係上、文章は掲載しておりません。

(喜志哲雄著『喜劇の手法 笑いのしくみを探る』集英社新書 より抜粋)

問一

空欄

に入る接続の言葉として最も適切なものを次の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

- 1 もちろん
- 2 そこで
- 3 その結果
- 4 なぜかというと
- 5 いわば
- 6 しかし

問一 傍線部「そういう情報」とある。その「情報」として文章中に挙げられているものとして不適切なものを次の中から二つ選び、番号で答えなさい。

- 1 古代ローマのプラウトゥスやテレンティウスが喜劇の傑作を書いたこと。
- 2 エリザベス朝のイギリスのシェイクスピアやベン・ジョンソンが悲劇の傑作を書いたこと。
- 3 十七世紀フランス演劇を代表するモリエールが喜劇の傑作を書いたこと。
- 4 シェイクスピアらの作品が今なお古典として上演されていること。
- 5 ベン・ジョンソンが当時の世相を鋭く諷刺ふうししたこと。
- 6 モリエールが貴族に気を遣いながらも権力者の活気を描いたこと。

--	--

問三 傍線部 「この本の目的は、おおむねの喜劇論の本のように、喜劇について本質的な考察を加え、喜劇というものを定義しようとするところにあるのではない」とある。では、「この本の目的」は何なのか。「この本の目的」を示す一文を文章中から抜き出し、はじめと終わりの三字を書きなさい。

問四 傍線部 「喜劇的效果」とある。著者は「喜劇的效果」について文章中で何のことだと定めているか。次の空欄に合うように最も適切な言葉を文章中から二字で抜き出して書きなさい。

喜劇的效果とは のことである。

問六 空欄 に入る言葉として最も適切なものを文章中からそれぞれ二字で抜き出して書きなさい。

問七 空欄 に入る最も適切な内容を次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 したがって、本質において喜劇的であったり悲劇的であったりする事件というものには存在する。
- 2 したがって、深刻で悲惨な事柄で悲劇的なものとして捉えられる事件は本質において悲劇的である。
- 3 したがって、笑いが起きる事柄で喜劇的なものとして捉えられる事件は本質において喜劇的である。
- 4 だが、本質において喜劇的であったり悲劇的であったりする事件というものはないのである。
- 5 だが、本質において喜劇的であったり悲劇的であったりする事件というものには存在する。

--

問八 本文の内容として不適切なものを次の中から二つ選び、番号で答えなさい。

- 1 百科事典や文学事典で「喜劇」の項目を引くと、時には、喜劇という形式が美学的、哲学的に考察されることもある。
- 2 ある事件が笑えるものかどうか、喜劇的であるかどうかは、その事件そのものの性質によって決まると考えているひとがいるが、これは適切だ。
- 3 劇作家は、自らの作品を観客なり読者なりがどのように受容するかはひとまず考慮せずに、素材を処理する。
- 4 ある事件が悲劇になるか喜劇になるかを決めるのは、題材そのものではなくて、あくまでも題材に対する劇作家の立場、題材に対する劇作家の扱いである。
- 5 深刻で悲惨な事柄が悲劇的なものとして捉えられるのは、あくまでも現実の世界での話である。

問九 傍線部 のカタカナは漢字に直し、傍線部 の漢字は読みをひらがなで書きなさい。

ソボク 体裁 ソウグウ

二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。なお、各設問の文字数には、記号・句読点を含む。

著作権の関係上、文章は掲載しておりません。

著作権の関係上、文章は掲載しておりません。

著作権の関係上、文章は掲載しておりません。

(野内良三著『日本語作文術 伝わる文章を書くために』中公新書 より抜粋)

注一 おもに本文同書の§6で説明されている。

問一 傍線部「折に触れて」、「至言」、「目くじらを立てる」、「煩わしい」、「なまじ」、「うそ謳う」の文章中での意味として、最も適切なものを次の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

折に触れて

- 1 物は試しと何度か
- 2 意識的に率先して
- 3 機会があることにいつも
- 4 なにかの影響を受けて
- 5 思い出したときたまに

至言

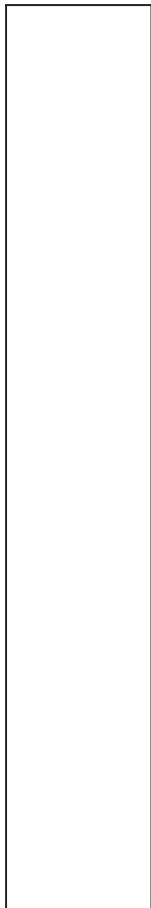
- 1 名句
- 2 偏見
- 3 理想
- 4 説教
- 5 文句

目くじらを立てる

- 1 ささいなことを取り立ててとがめる
- 2 怒りをどうしても我慢できなくなる
- 3 見さかいなく八つ当たりをする
- 4 自らの利害と無関係に怒りを表明する
- 5 不愛想でとげとげしく応じる

問四 傍線部「例文の をこの規則に従ってシャッフルしてみる」について、次の中から「この規則」に沿わないものをすべて選び、番号で答えなさい。

- 1 私は昨日すてきなスカーフをブティックで買った。
- 2 昨日私はすてきなスカーフをブティックで買った。
- 3 私は昨日スカーフをすてきなブティックで買った。
- 4 私はブティックですてきなスカーフを昨日買った。
- 5 昨日ブティックですてきなスカーフを私は買った。
- 6 昨日ブティックで買ったすてきなスカーフを私は
- 7 私はブティックでスカーフをすてきな昨日買った。
- 8 昨日すてきなスカーフをブティックで私は買った。
- 9 私はすてきなスカーフを昨日ブティックで買った。



問五 空欄 に入る語句として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 助詞

2 助動詞

3 動詞

4 形容詞

5 副詞

三 次の各文の空欄に入る適切な漢字を、【 】で指定された文字数で書きなさい。

- 1 重要な契約を取るために背水の【 】で臨む。【二字】
- 2 この商品は費用がかかるが背に【 】はかえられない。【一字】
- 3 現地に赴いてみると【 】は一見にしかずだとわかった。【二字】
- 4 今回摘発された事件は、まだ【 】の一角にすぎない。【二字】
- 5 この内容ではどちらの意見を採用しても五十歩【 】だ。【二字】

1	
2	
3	
4	
5	

